

奈良・町家の芸術祭 HANARART 実行委員会 事務局
電話 090-9215-6847
担当 飯村 (イイムラ)

奈良県 地域デザイン推進局 まちづくり連携推進課
電話 0742-27-7515 / 4312・4315 (内線)
担当 玉井、池田 (総務契約係)

奈良・町家の芸術祭 はならあと 2020

開催決定！！

「地球に優しいエコロジカルな芸術祭」

- 『はならあと 2020』は、地球環境問題をテーマとした芸術祭を開催します。
- 『はならあと』は今年10周年を迎えます。
- 天理市エリアが『はならあと』へ初参画します。
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、感染予防対策を徹底して開催します。
(展示内容や開催時間等の詳細は、9月初旬頃、あらためてお知らせする予定です。)

◆開催趣旨

『奈良・町家の芸術祭 はならあと』は、地域価値の発掘作業を通して、奈良県の豊かな文化や暮らしを過去から未来に繋ぐ、今ここから発信するアートプロジェクトです。

お掃除プロジェクトや空き家見学ツアー開催による町家利活用機運の向上、地元まちづくり団体主体の運営による地域力向上と現代芸術を通じた新しい価値の提案による住民の町に対する誇り・愛着醸成の機会、住民やアーティスト、来場者との交流促進による芸術普及や海外への新たな地域価値の発信を目標としています。

これまでの9年間で、『はならあと』開催がきっかけとなり店舗や移住者の住居として利活用されている空き町家は41件にのぼります。

今年は、未来の地球のために私たちがどのように感じ-考え-選び-行動していくべきかを現代美術を通して、見つめ直す、地球に優しいエコロジカルな芸術祭を開催します。

こあエリア

ゲストキュレーターが参画し、実験的な現代芸術の展覧会を開催する本芸術祭のメインエリア。地域性を再考察することで現代日本の課題を読み解き、未来に向けて、新しい価値を提案・発信します。

- 開催地：橿原エリア・今井
- 会期：10月23日(金)-10月26日(月) / 10月30日(金)-11月3日(火・祝) / 11月6日(金)-11月9日(月)
- 開催概要：キュレーターは、内田千恵氏。歴史的建築物が残る今井町の空き町家を舞台に8名の日本人作家、1名のフランス人作家の展示を企画。自然に還る素材に着目し、環境問題をテーマとした美術展。

さてらいとエリア

まちづくり団体やグループが、企画から運営まですべてを担い、町家を舞台とした展覧会を創出。現代美術展の他にも、地域とゆかりのあるアーティストや、地元の学校と連携したプロジェクトなど、文化芸術をきっかけとしたまちづくりと空き町家の利活用を目指して開催します。

- 天理市エリア
2020年9月26日(土) - 10月18日(日)
- 吉野町上市エリア
2020年11月1日(日) - 11月3日(火・祝)

「地球に優しいエコロジカルな芸術祭」

『はならあと2020』は、未来の子供たちのため、持続可能な社会のため、地球環境問題をテーマとした芸術祭を開催します。



はならあと2020メインビジュアル

はならあとかあ 橿原エリア・今井 キュレーター 内田千恵

『はならあと』は、原点に立ち戻り、未来の地球のために私たちがどのように感じ - 考え - 選び - 行動していくべきかを現代美術を通して、見つめ直す、地球に優しいエコロジカルな芸術祭を開催します。

1970年代に公害や温暖化問題について世界的に議論され始めてからすでに50年以上が経ち、私たちの住む地球は傷つき深刻な問題を抱えています。日本でも異常気象などにより災害が発生し我々の暮らしにも重大な問題を引き起こしています。世界各国で取り組みが進められていますが、個人はどこまで気をつけて行動していますか？便利で、安い、使い捨ての生活を行い無意識のうちに地球を傷つけていませんか？これは、地球に住む我々全員の問題です。

奈良県は、日本建国の地として知られ、歴史的情緒溢れる古い町並みが数多く残っており、現在も多くのまちづくり団体等が、建造物や文化保存を守るため活動しています。『はならあと』は、設立当初より「古いものを大切に保存し継承する」ということを土台として、芸術祭を行ってきました。現代美術を通し、作品とのコミュニケーション、作家との交流、国際交流・発信をしながら地域とアートをつないできました。10年目の『はならあと』は、「地球環境問題」をテーマに、みんなで話し合う場を作ります。展覧会、ワークショップ、セミナー等多彩なイベントを開催します。はならあと実行委員会として今までの行動を見直し、ゴミ削減、プラスチックフリーを目指し、作品制作から展示、発表に至るまでの行動に責任を持った地球に優しい芸術祭を開催します。『はならあと』に関わるスタッフ、アーティスト、地域の人々、そして『はならあと』に来てくださる皆さま、子供から大人までが未来の地球のために、ここ奈良から発信していく芸術祭を作りましょう。